

特集

臨床工学技士と災害対策 2020

編集責任：廣瀬 稔

巻頭言

廣瀬 稔

● 7

医療機関でのBCPの必要性和 策定時に考慮すべきポイント

江島 豊

● 9

臨床工学技士からみたBCPの考え方 —透析関連を中心に—

高橋良光

● 16

北海道胆振東部地震の経験から

▶ 大規模停電—ブラックアウト—における 透析センター稼働不能への対応

高橋直紀

● 22

▶ 透析患者受け入れへの対応

千葉二三夫ほか

● 29

西日本豪雨の経験から

▶ 断水による水不足への対応

近藤隆司

● 35

透析室の浸水・土砂災害対策—装置設置の面から—

森上辰哉

● 44

災害を想定したシミュレーション訓練 —臨床工学技士参加の重要性—

島田俊樹

● 49

日本透析医会災害時情報ネットワーク —情報伝達システムの概要—

岡田直人ほか

● 57

日本医療機器販売業協会が取り組む災害対策 —流通の立場における東日本大震災の経験より—

五嶋淳夫

● 62

設備設計者からみた災害対策で考慮すべき病院設備

- ▶ 自然災害の教訓を踏まえた医療施設のBCP ● 68
鈴木明文
- ▶ BCPを考慮した電源系統の計画ポイント ● 75
川合満男
- ▶ 供給を維持するための医療ガス設備におけるBCP ● 82
岡田 正

特集関連記事

- 日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT）の活動 ● 42
山家敏彦
- BCP 対策のための UPS の選定 ● 88
筒井慶枝

連載

-  第41回第2種ME技術実力検定試験全問解説 ● 91
第1回 午前の部 問題1～30 試験問題研究会

- 執筆者紹介 今号から開始! ● 4
- 養成施設卒業研究コンペ2019 結果発表 ● 112

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------------|
| お知らせ ●115 | 投稿に関するお知らせ ●120 | 編集協力者／養成施設代表者 ●122 |
| バックナンバー ●118 | 安全性情報 ●121 | 次号予告 ●124 |

■編集顧問 (50 音順) Advisory Editors

阿岸鉄三 AGISHI, Tetsuzo Emeritus Professor, Tokyo Women's Medical University

小野哲章 ONO, Noriaki Graduate School of Health Care Sciences, Jikei Institute Master Course of Management in Health Care Sciences

■編集主幹 (50 音順) Editors-in-chief

磨田 裕 USUDA, Yutaka Department of Intensive Care Medicine, Yokosuka Kyosai Hospital

加納 隆 KANO, Takashi Master course of Management in Health Care Sciences, Graduate School of Health Care Sciences, Jikei Institute

篠田俊雄 SHINODA, Toshio Tsukuba International University, Faculty of Medical and Health Science, Department of Medical Care Technology

嶋津秀昭 SHIMAZU, Hideaki Faculty of Health and Medical Sciences, Hokuriku University

廣瀬 稔 HIROSE, Minoru Department of Clinical Engineering, School of Allied Health Sciences, Kitasato University

峰島三千男 MINESHIMA, Michio Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University

百瀬直樹 MOMOSE, Naoki Medical Engineering, Jichi Medical University Saitama Medical Center

＊本書に記載されている内容は、出版時の最新情報に基づくとともに、臨床例をもとに正確かつ普遍化すべく、著者、編者、監修者、編集委員ならびに出版社それぞれが最善の努力をしております。しかし、本書の記載内容によりトラブルや損害、不測の事故等が生じた場合、著者、編者、監修者、編集委員ならびに出版社は、その責を負いかねます。

また、本書に記載されている医薬品や機器等の使用にあたっては、常に最新の各々の添付文書や取り扱い説明書を参照のうえ、適応や使用方法等をご確認ください。

株式会社 学研メディカル秀潤社